

## エネルギーリソースアグリゲーション事業協会の設立 ～DER利用拡大による電力需給の安定やカーボンニュートラル実現に貢献～

2023年10月6日  
エネルギーリソースアグリゲーション事業協会

本日、エネルギーリソースアグリゲーション事業協会（ERA）を発足しました。ERAは、特定卸供給事業者（アグリゲーター）、エネルギー事業者やメーカー、システムベンダー、金融機関、有識者等、幅広い業種から多くの事業者等が参画して設立した団体です。

ERAは、需要側の設備を活用したデマンドレスポンスだけでなく、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーやそれら導入拡大に不可欠な大規模蓄電池などの分散型エネルギーリソース（DER）を活用した事業の健全な発展を図るとともに、これらの活用を通じ電力需給の安定やエネルギーセキュリティの向上、カーボンニュートラルの実現に貢献し、我が国の経済と国民生活の向上に寄与します。

2021年10月に策定された「第6次エネルギー基本計画」において、2050年のカーボンニュートラル実現を見据えた2030年に向けた政策対応が取りまとめられ、新たな電源であるDERの活用拡大への期待が高まっています。このDER活用において、中核的な役割を果たすのがアグリゲーターになります。

アグリゲーターは、2020年6月に改正された電気事業法に新たに規定されたライセンスになり、従来からある発電事業者と同様に、小規模電源であるDERを束ね、市場取引や相対取引などにより小売電気事業者や一般送配電事業者等に電気を送ることで、電力の安定供給等に貢献します。

ERAは、電気事業において、既存電源とは運用面などで相違点の多いDERの活用拡大のために不可欠である電気事業制度の整備に関して、国や関係機関に対して、事業者の視点から専門的な知見に基づく建設的な提言を行っていきます。ERAの活動を通じ、我が国の経済と国民生活の向上に寄与していきます。

以上

添付資料：エネルギーリソースアグリゲーション事業協会の概要

エネルギーリソースアグリゲーション事業協会の概要  
(英文名 : Energy Resource Aggregation Business Association)

1. 目的

エネルギーリソースアグリゲーション事業の健全な発展を図るとともに、分散型エネルギーリソース（DER）の活用を通じ電力需給の安定やエネルギーセキュリティの向上、カーボンニュートラルの実現に貢献し、我が国の経済と国民生活の向上に寄与します。

2. 事業内容

- (1) DER活用拡大のための調査研究および企画
- (2) DER活用拡大のための情報発信
- (3) 社会や政府への意見や要望の表明
- (4) 関係機関との交流及び連携
- (5) 会誌等の編集及び出版に関する事業
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

3. 会員数（詳細は別紙参照〔参加予定を含む〕） ※10月6日時点

正会員 23社  
賛助会員 51社  
有識者会員 5名

3. 役員 ※50音順

会長理事 E-Flow 合同会社（会員代表者：川口 公一）  
副会長理事 株式会社 Shizen Connect（会員代表者：平尾 宏明）  
理事 株式会社 エナリス（会員代表者：小林 輝夫）  
理事 エネルエックス・ジャパン株式会社  
（会員代表者：小林 将大）  
理事 ElectroRoute Japan 株式会社（会員代表者：谷 桂介）  
理事 カスタマイズドエナジーソリューションズジャパン株式会社  
（会員代表者：河原 伸自）  
理事 デジタルグリッド株式会社（会員代表者：松井 英章）  
理事 電源開発株式会社（会員代表者：加納 正照）  
理事 東北電力株式会社（会員代表者：恩田 徳雄）  
理事 丸紅新電力株式会社（会員代表者：松田 明広）  
※監事については、別途選任を行う

4. 事務局

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所  
本件のお問い合わせは下記にお願いいたします。

[era@tky.ieej.or.jp](mailto:era@tky.ieej.or.jp)